

中国文化コロキウム 中国文化フォーラム

場所：大阪大学文学研究科第1会議室

主催：大阪大学中国文化フォーラム

共催：大阪大学グローバルコラボレーションセンター

中国文化コロキウム 2008年7月19日(土)

趣旨説明 9:45~10:00

宮原曉(グローバルコラボレーションセンター准教授)

第1セッション 10:00~12:00

司会：大栗真佐美

コメンテーター：河本美紀

陳麗(言語社会研究科D3)：劉昶暉研究の現状について

根岸智代(言語社会研究科D3)：

1936年PRRヨセミテ会議をめぐる『中日問題』言説の交錯

コメンテーター：根岸智代

宮川耕平(文学研究科M1)：戦間期の上海国際共同租界におけるセキュリティ

永野佑子(言語社会研究科M2)：台湾総督府・總統府(仮)

青柳伸子(慶應義塾大学大学院法学研究科D1)：

延辺地方における抗日と革命：1931~1949年

第2セッション 13:00~14:10

司会：宮川耕平

コメンテーター：陳麗

滝本理博(言語文化研究科M1)：沈從文の内面に於ける湘西について

金晶(言語文化研究科D1)：民国期における谷崎潤一郎作品の出版状況(仮)

大栗真佐美(言語社会研究科D1)：中国帰国者たちについて

第3セッション 14:30~16:30

司会：永野佑子

コメンテーター：大坪慶之

島田美和(大阪大学非常勤講師)：

1930年代前半内モンゴル地域における中央と地方の関係

思沁夫(グローバルコラボレーションセンター特任助教)：

中国は変わるのか、変わらないのか

コメンテーター：小都晶子

河本美紀(近畿大学非常勤講師)：香港における北京語映画の制作について

長沼さやか(国立民族学博物館外来研究員)：

水上人と呼ばれる人々：広東珠江デルタの漢族エスニシティとその変容(仮)

第4セッション 16:40~17:50

司会：青柳伸子

コメンテーター：島田美和

大坪慶之(文学研究科特任研究員)：垂簾聽政下の清朝中央における政策決定のあり方

小都晶子(大阪大学非常勤講師)：『満洲国』農業機関の研究活動とその実践

総括 17:50~18:00

田中仁(法学研究科教授)

<http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/research/080719.html>

中国文化フォーラム第2回セミナー 2008年7月20日(日)

第1セッション 東アジアの変容と地域秩序

10:00~12:00(発表10:00~11:20, 討論11:20~12:00, 司会:宮原)

秋田茂(文学研究科)

コロンボ・プランからアジア太平洋協カへ：地域統合と日本の「開放的地域主義」構想

山田康博(国際公共政策研究科)

米中日3国間関係の展開と東アジア安全保障

五島文雄(静岡県立大学)

ベトナムにとっての中国と台湾：1986年以降の動向を中心に

許衛東(経済学研究科)

日本経済の構造転換と対中投資

第2セッション 20世紀なかばの中国と日本

13:00~14:30(発表13:00~14:00, 討論14:00~14:30, 司会:片山)

今泉秀人(世界言語研究センター)

日本における沈從文研究について

田中仁(法学研究科)

「抗戦建国記念日」に関する3大新聞「社論」言説分析

西村成雄(放送大学)

1942、43年重慶政治空間と東北要因：『反攻半月刊』誌にみる東北回復言説

第3セッション 統治の理念と制度

14:45~16:15(発表14:45~15:45, 討論15:45~16:15, 司会:秋田)

片山剛(文学研究科)

20世紀中国大陸における土地調査事業と農村社会

山本有造(中部大学)

近代日本帝国における植民地支配の特質

堤一昭(文学研究科)

「中国」統治における国家の正統性と言語：蒙元時代の言語・文化政策研究の現状から

第4セッション グローバリゼーションと「中国」

16:30~18:00(発表16:30~17:30, 討論17:30~18:00, 司会:許)

青野繁治(言語文化研究科)

中国大陸ロック界の20年

三好恵真子(人間科学研究科)

グローバル化経済システムがもたらす中国のアスベスト問題

宮原曉(グローバルコラボレーションセンター)

マルコス政権下におけるセブ・ローカルポリティクスの転換

<http://www.law.osaka-u.ac.jp/~c-forum/box3/080720seminar.htm>

参加ご希望の方は事前に下記までお知らせ下さい

大阪大学中国文化フォーラム事務局

xiaodu21@gmail.com